



リンドウ 心美「白寿」 Gentiana scabra var. buergeri 画/植田由喜子

福岡県甘木市で作られるリンドウ「心美(ここみ)」シリーズは、開花期が長く、花が上向きに咲き、曇天でも花が閉じにくいのが特徴です。東北～九州まで幅広く自生するササリンドウ系です。心美「白寿」(ここみはくじゅ)は、白と青のバイカラーが美しい人気品種です。

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 馨 発行所/名古屋園芸株式会社  
〒460-0905 名古屋市中区東横2-18-13 tel. 052-501-8701  
http://nagoyaengei.co.jp/

17 9

名古屋園芸



2017年10月～2018年3月

## 花の講座 受講生を受付中

名古屋園芸のスタッフが講師の花の講座です  
詳しくは講座パンフレットをご覧ください

◇花の講座専用電話

TEL : 052-937-3391

受付時間：月～金曜日 9:00～17:00

◇Webでのお申込みは24時間OK!



カナダ西海岸 ガーデン・シティー「ビクトリア」

## The Butchart Gardens (ブッチャート・ガーデン)

小笠原 馨



サンクン・ガーデン (Sunken Garden 沈んだ庭園)

園芸家にとってブッチャート・ガーデンは、一度は訪れたいガーデンの一つです。ガーデンがあるビクトリアは、2010年に冬季オリンピックが開催されたカナダ西海岸バンクーバーの南西にあります。バンクーバーからは飛行機、またはフェリー(車、バス)で入ることができます。ビクトリアは歴史的な背景からイギリスの影響が色濃く残る街で、街中に花があふれ「ガーデン・シティ」とも呼ばれています。



園内に入ると、日本では暑くて育てにくい、ホクシヤや緑梗ペゴニアの巨大なハンギングバスケットが迎えてくれる



バンクーバーやビクトリアは、緯度は北海道より北になりますが、カナダ国内でかなり温暖な気候を持つ街です。西岸海洋性気候で、夏は30℃を越すような真夏日はほぼなく、空気は乾燥し快適な気候です。実際私たちが滞在した7月中旬、最高気温22、23℃と日本の八重桜の咲く頃の気候で、雨は夜に少し降っただけでした。対照的に、11月から翌年3月まで月の半分以上が雨や雪の日となります。カナダでも比較的降水量が多いことで知られています。世界各地の植物園や庭園を訪ねる時、その地域の地理、気候を知ると、そこで育つ植物の適した環境を知ることができます。



入り口のビジターセンター  
その日、ガーデンに咲いている主な花の切花を展示



見下ろすと樹冠が美しく、ミニチュアガーデンのような光景も楽しい

ブッチャート・ガーデンはいわゆる回遊式庭園で、順路通り進むといろいろな「仕掛け」を楽しむことができます。新しいテーマの庭が突然現れるように木々に目隠しがしてあったり、角を曲がるといきなり眼前に次のステージが現れる工夫がしてあります。初めて訪れた私たちは驚きの連続です。園内に入るとすぐに球根ペゴニアやホクシヤの棚がありそれを見ながら左折し、狭い木立の間を歩いていくと突然眼下にサンクンガーデンの眺望が飛び込んできます。ブッチャート・ガーデンの最大のハイライトの庭です。緑の芝生に花々に描き上げた絵画のような美しさは圧巻で、「来てよかった!」と推しもが思う瞬間です。セメント工場用の石炭採掘場だった場所で、掘り尽くされた座地の地形をいかして「沈んだ庭(Sunken Garden)」と名づけられました。温帯から寒帯への中間地帯の



日本庭園との共通性も感じられる 枝垂れコニファーを、芝生が川をイメージしているのだろうか

ような植生で、基本的には針葉樹が多く植栽されています。巨木ばかりでなく枝垂れ性や若い性の針葉樹も巧みに配置され、雄大さと優雅さを両立させています。また落葉樹の中に日本のモミジが多用されており、「野村」や「出狸々」など赤系品種がよくみられます。またアジサイは最盛期直前で、ブルー系のみならず赤花系品種の色もよく出ていました。「沈んだ庭園」なので高いところから見下ろせるビューポイントがあり、ガーデンの構成をしっかりと見ることができます。日本庭園との共通性も強く感じました。



創設60周年を記念して建設された噴水。数十秒間隔で噴水のデザインが次々に変わり見る人を魅きさせない

さてブッチャート・ガーデンは、1904年にブッチャート氏のセメント製造事業によって残された石炭石採掘跡に、夫人が庭園造りをしたことから始まります。面積は東京ドーム5個分でそれほど広大なガーデンでないため、比較的楽に回ることができます。入口横にあるビジターセンターでは、当日咲いている花が切花で展示され名前が表示されています。季節の花のパンフレットもあり、よく目に入る花の名前は大体わかるようになっています。このようにはじめ



バラ、ゼラニウム、サルビアの歓迎に、ひたすらカメラを向ける日本人

に予備知識は得られるのですが、このガーデンは「植物園」ではなく「ガーデン」いうことで、植物園にあるような植物の名札は一切ありません。日本の「植物園」は「ガーデン」との折衷形式が多いのですが、ここは割り切った潔さのある「ガーデン」です。ガーデンではメンテナンスのために大勢のスタッフが働いています。わからない植物を質問すると気さくに答えてくれました。

# 花の博物館 第260回

## 秋草と美人

伊東深水面(一八九五～一九七二)  
昭和初期の作品か版  
版元未詳

小笠原左衛門尉亮軒



### information



「花を楽しむ」おためし版として、通常の講座より短時間の体験講座です

#### はじめてのブーケ



14-1 10月7日(土) 13:30～14:00

14-2 10月21日(土) 13:30～14:00

#### はじめての 小さな寄せ植え



34-1 10月7日(土) 10:30～11:15

34-2 10月21日(土) 10:30～11:15

各回 講習費：500円(+税)  
材料費：2500円(+税)

伊東深水面は大正、昭和を代表する美人画家、芸術院会員、版画の作品も数多く残しこの図もその一作品である。  
美人の描き方の良しあしを評価す

立場ではないが、秋草の描き方は実物を良く観察の上の作品と見る方がいいが、どうだろうか。画面全体がしっかりとした線が漂ってくる。